

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名	一般国道49号 <small>いなわしろ</small> 猪苗代拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県耶麻郡猪苗代町大字壺楊字南浜 至：福島県耶麻郡猪苗代町大字長田字大堰			延長	7.3 km
事業概要					
<p>一般国道49号は、福島県いわき市から新潟県新潟市に至る延長約240kmの主要幹線道路である。猪苗代拡幅は、福島県耶麻郡猪苗代町大字壺楊字南浜から福島県耶麻郡猪苗代町大字長田字大堰猪苗代に至る延長7.3km、2車線の道路である。</p>					
S63年度事業化		H1年度都市計画決定 (H1年度変更)		H元年度用地着手	
				H3年度工事着手	
全体事業費	約129億円	事業進捗率	97%	供用済延長	4.4km
計画交通量	9,400台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.02	総費用	(残事業)/事業全体 9.8億円/238億円	総便益	(残事業)/事業全体 6.8億円/242億円
	(残事業) 7.0	〔事業費：3.6億円/219億円 維持管理費：6.2億円/19億円〕	〔走行時間短縮便益：63億円/207億円 走行経費減少便益：4.6億円/29億円 交通事故減少便益：0.83億円/6.2億円〕	〔 〕	〔 〕
<p>感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 【全体事業】交通量変動：B/C=0.8~1.3(交通量 ±10%) 【残事業】B/C=5.2~9.0(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=1.02~1.02(事業費 ±10%) B/C=6.8~7.3(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=0.98~1.06(事業期間±1年) B/C=6.9~7.1(事業期間±1年)</p>					
事業の効果等					
<p>①国土・地域ネットワークの構築 ・現道（国道49号）における冬期積雪時の大型車のすれ違い困難区間を解消する</p> <p>②個性ある地域の形成 ・スポーツ、レクリエーションイベント（マラソン大会等）を支援する ・主要な観光地（志田浜）へのアクセス向上が期待される</p> <p>③災害への備え ・緊急輸送道路（磐越自動車道）が通行止めになった場合の代替路を形成する</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>○福島県知事の意見 国の対応方針（原案）については、異議ありません。なお、東日本大震災からの復興を支援するため、早期完成に努めて下さい。</p> <p>○以下の団体等から、猪苗代拡幅の整備促進について要望あり。 ・会津総合開発協議会 ・会津地区道路整備促進期成同盟会 ・会津方部商工観光団体協議会 ・県中・県南・会津地区国道協議会</p>					
事業評価監視委員会の意見					
<p>対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<p>・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<p>・昭和63年度事業化、用地進捗率97%、事業進捗率97% ・平成7年度に堅田地区 延長1.1kmの4車線化、平成17年度に金曲バイパス 延長1.8kmが供用。 ・平成21年度に事業評価監視委員会において、計画交通量の見直しにより、4車線計画から2車線計画へ事業計画の見直しを実施。 ・平成24年度より用地買収済み区間について2車線拡幅の工事に着手、平成25年度に長田地内延長0.4km、壺楊地内 延長0.4kmが供用。 ・平成28年度に磐里地内 延長0.7kmが供用。</p>					

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 事業の進捗に係る問題はない。
- ・ 残区間（延長2.9km）の開通は、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 新技術（橋梁部の支承形式（機能分散型支承）、伸縮装置（埋設ジョイント））の導入によりコスト縮減を図る。

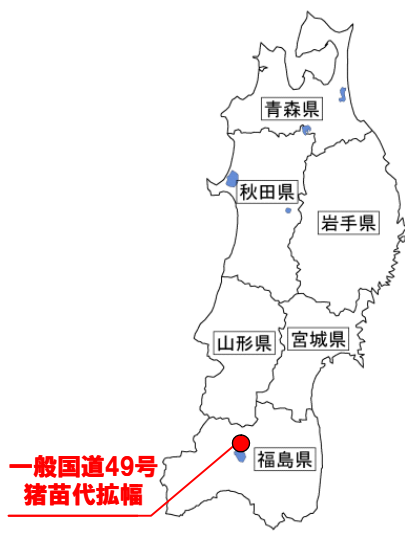
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

国道49号の冬期の交通安全性の確保及び円滑な交通の確保のため、早期整備の必要性が高い。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。